

人口減少集落への行政
サービス向上及び
少子化対策について



滝田 一郎 議員



質問…地区別の人口増減の特徴について伺います。

答弁…約10年間で大田原及び野崎地区は増加していますが、湯津上723人減、黒羽2624人減、金田574人減、親園595人減、佐久山480人減と人口減少に直面しています。

質問…人口世帯数の地域間格差の拡大対策について伺います。

答弁…過疎地域における産業振

興施策を着実に実施すると共にに移住定住を推進します。

質問…人口減少集落への行政サービスの強化について伺います。

答弁…移住支援金の要件の拡充について検討します。

質問…人口は自分の地域で増やすことが大切と思います。結婚支援を通じた出生率の向上や切れ目のない子育て支援、教育の充実が未来に向けての礎と思

ますが市長の見解を伺います。

答弁…他の地域から人を呼ぶということは一時的に大田原市が増えても、日本全体の人口増に繋がっていないと思います。議員指摘のように本市の魅力発信して大田原市で産んで育ててという環境を整えていくことが重要です。それには他の地域との違いをつくり出していかなければならないと考えています。

一般質問



前野 良三 議員



公共交通及びデマンド
交通の車両に対する
広告の掲示について

質問…市営バス及びデマンド交通の車両の広告掲示に対する契約内容等について伺います。

答弁…広告掲示については、市営バスは14台、デマンド交通は1台の車両に広告を掲示しています。

質問…市営バスは市と広告代理店の企業間での契約、デマンド交通車両は運行委託会社と広告依頼業者との間での契約との答

弁でありました。どうして市営バスとデマンド交通で取扱いが違うのか伺います。

答弁…市営バスは、市が所有する車両になっています。大田原市自家用有償バス広告掲載取扱要領に基づいて、広告掲載取扱

いの事務の一部を広告代理店に委託しています。デマンド交通については、大田原市デマンド交通運行事業計画に基づいて、

その計画を遂行する事業者依頼して実施しています。あくまで自らが道路運送法等の許可を受けて運行事業を行う民間の事業者です。広告掲示についても、それぞれ民間同士の契約と違うことですので、そこで違いが出てきます。